

正副委員長を選出、事業運営について検討

健康総合対策事業委員会



健康総合対策事業委員会は、5月27日（木）、府国保連合会で開催された。



本会中森事務局次長の開会挨拶の後、協議に入り、委員改選に伴い委員長に舞鶴市の笹原保険医療課長、笠置町の東住民課長を選出した。

事務局より平成21年度国保連合会保健事業等の報告及び平成22年度国保連合会保健事業等の計画について、それぞれ説明をした。また、保険者活動助成金交付要綱について改正案内容や助成金の補助対象となる経費等の説明を行った。

委員からは、現行事業の費用及び効果等について質問や、より効果的な事業の展開に対する意見など活発な議論がなされた。

また、政府による事業仕分け等の国内情勢に触れ、国からの補助金の動向が懸念されることから、保険者への事業支援に影響を及ぼすことを示唆し、今後国の動向を見極めながら事業企画・運営について対策と検討が必要であるとした。